

静岡県月例経済報告

(令和元年6月号)

……平成31年4月を中心とした県内経済のすがた……

No. 518

—静岡県経済産業部—

目 次

I 静岡県経済の概況	1
II 静岡県主要経済指標の概況	4
・需要面	4
・生産面	12
・雇用面	14
・その他	17
III 静岡県主要産業の動向	21
IV データからみた県内主要産業	24

利用にあたって

- 1 本月報は、本県経済の状況について、経済統計及び産業動向をとりまとめたものである。
- 2 本月報は4部から構成されている。
- 3 第1部では、本県経済の概況について経済統計データを中心に述べているが、指標によっては当該月データが未公表のため前月値を用いる場合がある。これらの指標は文中に示している。
- 4 第2部では、本県経済の動向について主要経済指標を用いて、データとグラフで示している。
- 5 第3部では、本県の主要産業動向について簡単にまとめている。
- 6 第4部では、本県の主要産業動向についてデータで示している。
- 7 本月報で用いた ▲はマイナスを表している。
- 8 数字の単位未満は四捨五入することを基本としているが、情報提供元の公表方法に準拠させている。

この「静岡県月例経済報告」は、静岡県経済産業部のインターネット・ホームページに掲載しています。

ホームページアドレス(URL) <https://www.pref.shizuoka.jp/sangyou/>

I 静岡県経済の概況

〔本稿は、平成31年4月を中心とした経済統計及び企業ヒアリングをもとに取りまとめている。〕

概況

平成31年4月を中心とした静岡県の景気は、一部に弱めの動きもみられるが、緩やかに回復している。

先行きについては、意欲的な設備投資計画などを背景に、景気回復の動きが確かなものとなることが期待されるものの、輸出、生産の回復状況と海外の政治経済情勢に注意する必要がある。

雇用情勢は、改善の動きを続けている。

- ・ 個人消費は、緩やかに持ち直している。
- ・ 設備投資は、増加の動きがみられる。
- ・ 輸出は、増勢が鈍化している。
- ・ 生産は、増勢が鈍化している。

需要面

「個人消費は、緩やかに持ち直している」

大型小売店販売額(4月)は、百貨店が8か月連続、スーパーが2か月ぶりに前年実績を下回ったことから、総額でも2か月ぶりに前年実績を下回った。

専門量販店等販売額(4月)は、ホームセンターが2か月ぶりに前年実績を下回ったものの、家電大型専門店が3か月連続、コンビニエンスストアが6か月連続、ドラッグストアが26か月連続で前年実績を上回ったことから、総額でも11か月連続で前年実績を上回った。

自動車(新車)新規登録台数(4月)は、乗用車が3か月ぶり、軽自動車が2か月ぶりに前年実績を上回ったことから、総数でも3か月ぶりに前年実績を上回った。

「住宅建設は、前年を下回った」

新設住宅着工戸数(4月)は、持家が8か月連続、分譲住宅が2か月連続で前年実績を上回ったものの、貸家が2か月ぶりに前年実績を下回ったことから、全体でも2か月ぶりに前年実績を下回った。

「公共投資は、前年を上回った」

公共工事請負金額(4月)は、2か月ぶりに前年実績を上回った。

「設備投資は、増加の動きがみられる」

日銀短観(平成31年4月1日)の平成31年度の設備投資(含む土地投資)(計画)は、製造業で増加、非製造業で減少し、全産業では増加する計画となっている。

また、ソフトウェア・研究開発を含む設備投資(除く土地投資)(計画)は、製造業で増加、非製造業で減少し、全産業では増加する計画となっている。

着工建築物床面積(非居住用)(4月)は、3か月ぶりに前年実績を下回った。

「輸出は、増勢が鈍化している」

「輸入は、前年を上回った」

輸出総額（4月）は、科学光学機器が3か月連続で前年実績を上回ったものの、原動機が3か月ぶり、エアコン、二輪自動車類がいずれも2か月連続、自動車、自動車の部分品がいずれも2か月ぶりに前年実績を下回ったことから、総額でも3か月ぶりに前年実績を下回った。

また、輸入総額（4月）は、パルプが3か月連続、自動車の部分品が3か月ぶりに前年実績を下回ったものの、魚介類及び同調製品、原動機がいずれも2か月ぶり、木材、紙類及び同製品がいずれも2か月連続で前年実績を上回ったことから、総額でも2か月連続で前年実績を上回った。

なお、輸出入のバランスは、689億円の輸出超過となった。

生産面

「生産は、増勢が鈍化している」

鉱工業生産指数（4月）は、輸送機械が2か月連続、パルプ・紙・紙加工品が3か月ぶりに前年水準を下回ったものの、化学が前年と同水準、はん用・生産用・業務用機械が8か月連続、電気機械が15か月連続、食料品・たばこが2か月ぶりに前年水準を上回った。総合では前年水準と同水準だった。また、前月比は5か月ぶりに上昇した。

なお、鉱工業在庫指数（4月）は、総合では8か月連続で前年水準を上回った。

雇用面

「雇用情勢は、改善の動きを続けている」

有効求人倍率（4月）は1.61倍で、前月を0.06ポイント下回った。また、63か月連続で1倍を上回った。なお、30か月ぶりに全国値を下回った。

雇用保険受給者実人員（4月）は、2か月連続で前年実績を上回った。

また、所定外労働時間指数（3月）は、2か月連続で前年実績を下回った。

その他

「金融環境は、貸出残高、信用保証金額のいずれも前年を下回った」

県内金融機関の貸出残高（4月）は、前年同月比 2.2%減と前年実績を下回った。

信用保証協会保証金額（4月）は、前年同月比 7.2%減と前年実績を下回った。

「企業倒産は、件数、負債総額のいずれも前年を下回った」

企業倒産（5月）は、件数は17件（前年同月比 29.1%減）、負債総額は18億4,700万円（同 39.7%減）といずれも前年実績を下回った。

<トピックス> 「TECH BEAT Shizuoka」

首都圏ICTベンチャーと県内企業をマッチング

- 県では、本年2月に策定した「ふじのくにICT人材確保・育成戦略」に基づき、ICTに係るトップレベルの人材から、各企業の中核的人材、次世代を担う人材まで、幅広い層を対象とした総合的な施策を展開しています。
- 7月24日及び25日に、全国初の試みとして、首都圏を中心としたICTベンチャーと県内企業とのビジネスマッチングを行う「TECH BEAT Shizuoka」を開催します。

<TECH BEAT Shizuoka>

【開催時期】

2019年7月24日（水）、25日（木） ※23日（火）に前夜祭

【会場】

静岡県コンベンションアーツセンター「グランシップ」

【内容】

- 基調講演
 - ・24日午前：東京大学教授・松尾豊 氏
 - ・25日午後：スタンフォード大学 Biodesign Program Director・池野文昭 氏
- ICTベンチャー等のブース出典
- ライトニングトーク
- 県内企業を対象としたICT活用セミナー
- ビジネスマッチング、商談



「ICT×技術力」で新たなステージへ

AIやIoTなどの科学技術の著しい進展が産業の様相を大きく変えようとしています。「データを制することが事業の優劣を決する」と言われる中、「TECH BEAT Shizuoka」は、最新テクノロジーを有するICTベンチャーと、県内企業の技術力とを掛け合わせ、革新的なビジネスやイノベーションの創出を目指します。このチャンスを活かし、新たなステージへと飛躍できるよう、皆様のチャレンジに期待します。

静岡県知事
川勝 平太



静岡で産業革新の「共創」を実現する

静岡県は恵まれた環境と高い技術力により、製造業をはじめ農業や漁業、観光業など多様な産業を発展させてきました。世界の潮流がデジタル革新にある今、静岡の産業も新たなテクノロジーを活用し進化しなければなりません。世界を目指す技術を持って静岡に集うスタートアップと、静岡企業のマッチングを目的とする「TECH BEAT Shizuoka」。両者の「共創」から新たな産業革新の鼓動が響きはじめることを願います。

静岡銀行
代表取締役会長
中西 勝則



II 静岡県主要経済指標の概況

需 要 面

1 個人消費

(1) 大型小売店販売額

4 月 = 31,906百万円

*前年同月比： 2.0%減

(県内3百貨店、134スーパー合計)

<概況>

4月の大型小売店販売額は31,906百万円で、前年同月比 2.0%減となり、2か月ぶりに前年実績を下回った。

業態別にみると、百貨店（前年同月比 3.3%減）が8か月連続、スーパー（同 1.7%減）が2か月ぶりに前年実績を下回った。

商品別では、飲食料品（前年同月比 0.3%増）が2か月連続で前年実績を上回ったものの、衣料品（同 7.3%減）、家庭用品（同 2.4%減）がいずれも2か月ぶり、身の回り品（同 8.2%減）が4か月連続で前年実績を下回った。

なお、店舗数調整前の前年同月比は1.0%減と、2か月ぶりに前年実績を下回った。

<最近の動き>

	30年9月	10月	11月	12月	31年1月	2月	3月	4月
販売額(百万円)	32,358	33,408	33,659	43,100	34,284	29,545	34,354	31,906
前年同月比(%)	3.0	▲0.8	▲2.3	0.6	▲6.5	▲4.5	1.7	▲2.0
うち百貨店(%)	▲0.2	▲1.6	▲1.4	▲2.8	▲3.5	▲0.9	▲1.1	▲3.3
スーパー(%)	3.8	▲0.6	▲2.6	1.6	▲7.3	▲5.3	2.4	▲1.7
(参考1)全国前年同月比(%)	0.4	▲0.8	▲2.1	▲1.0	▲3.3	▲1.8	0.6	▲1.8
うち百貨店(%)	▲2.6	1.1	▲1.1	▲1.3	▲3.3	▲0.1	▲0.2	▲1.5
スーパー(%)	1.7	▲1.8	▲2.6	▲0.8	▲3.4	▲2.7	1.0	▲1.9
(参考2)県前年同月比(店舗数調整前)	2.7	▲0.6	▲1.2	1.3	▲5.8	▲4.1	3.1	▲1.0

(注)販売額は店舗数未調整、前年同月比は店舗数調整済、全月速報値

<資料>経済産業省

<商品別前年同月比の推移>

(単位：%)

	30年9月	10月	11月	12月	31年1月	2月	3月	4月
衣料品	▲0.7	▲7.0	▲5.8	▲2.1	▲6.7	▲7.2	0.8	▲7.3
うち紳士服・洋品	▲1.0	▲7.5	▲7.0	▲1.6	▲9.7	▲9.9	4.7	▲6.8
婦人・子供服・洋品	▲1.0	▲5.6	▲4.4	▲1.8	▲4.6	▲7.0	▲0.4	▲7.7
身の回り品	▲3.2	▲5.6	▲1.9	6.4	▲4.5	▲0.9	▲1.3	▲8.2
飲食料品	4.8	1.2	▲0.6	1.5	▲6.1	▲4.2	2.1	0.3
家庭用品	▲1.5	▲0.6	▲9.0	▲4.8	▲15.0	▲8.9	6.4	▲2.4
うち家庭用電気機械器具	10.8	8.4	▲6.7	0.7	▲1.5	1.4	14.6	12.2

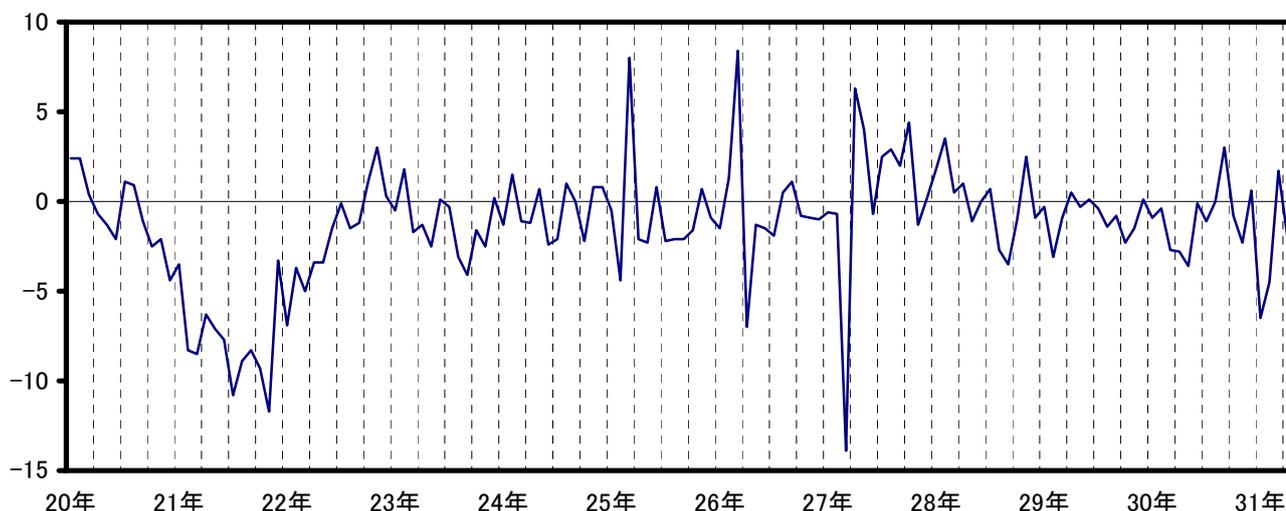
(注)店舗数調整済、全月速報値

<資料>経済産業省

<過去10年間の推移>

大型小売店販売額前年同月比(%)

<資料>経済産業省



(2) 専門量販店等販売額

4月 = 67,913百万円

*前年同月比： 1.9%増

(県内87家電大型専門店、1,702コンビニエンスストア、491ドラッグストア、105ホームセンター合計)

<概況>

4月の専門量販店等販売額は67,913百万円で、前年同月比 1.9%増となり、11か月連続で前年実績を上回った。

業態別にみると、ホームセンター(前年同月比 4.2%減)が2か月ぶりに前年実績を下回ったものの、家電大型専門店(同 0.8%増)が3か月連続、コンビニエンスストア(同 2.0%増)が6か月連続、ドラッグストア(同 4.8%増)が26か月連続で前年実績を上回った。

<最近の動き>

	30年9月	10月	11月	12月	31年1月	2月	3月	4月
販売額(百万円)	66,765	67,010	65,321	78,121	66,381	60,495	71,028	67,913
前年同月比(%)	4.8	4.1	1.1	2.5	2.6	3.0	3.8	1.9
うち 家電大型専門店(%)	10.5	1.4	▲ 2.5	3.7	▲ 0.5	0.8	5.5	0.8
コンビニエンスストア(%)	3.6	▲ 0.1	0.8	2.1	1.9	2.8	0.9	2.0
ドラッグストア(%)	6.4	7.4	4.9	4.4	6.3	5.6	8.5	4.8
ホームセンター(%)	1.4	15.5	▲ 1.4	0.1	▲ 1.1	▲ 1.7	0.6	▲ 4.2
(参考)全国前年同月比(%)	4.6	2.0	1.2	3.0	2.2	2.7	3.0	1.6

(注1) 販売額、前年同月比は店舗数未調整

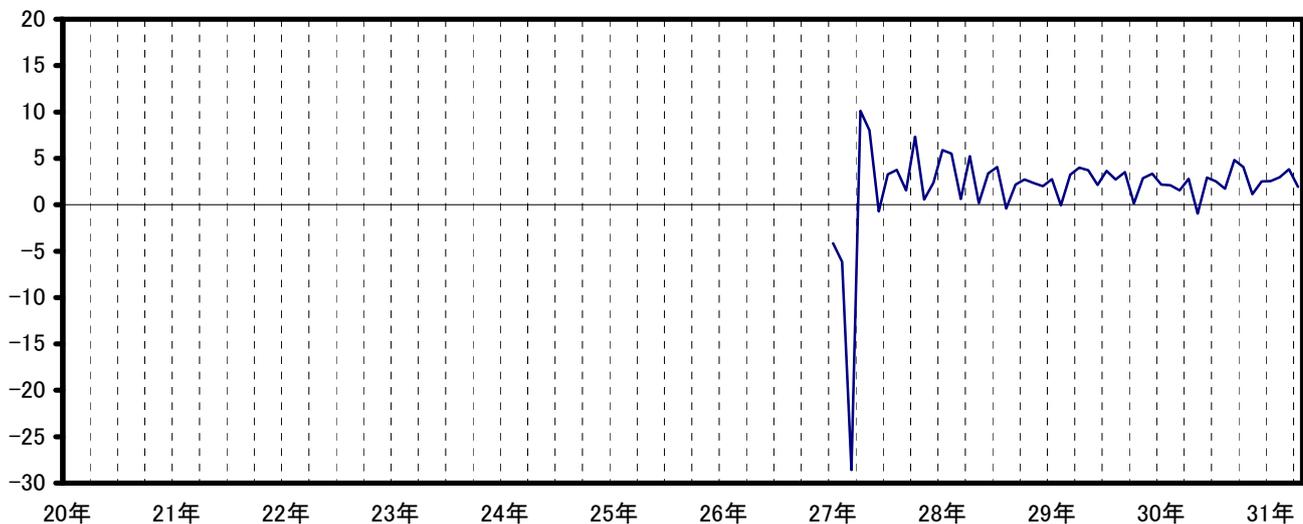
<資料>経済産業省

(注2) 平成28年7月からコンビニエンスストアの販売額を追加

<過去10年間の推移>

専門量販店等販売額前年同月比(%)

<資料>経済産業省



(3) 自動車(新車)新規登録台数**4月 = 12,617台**

*前年同月比： 6.2%増

(乗用車、軽自動車合計)

<概況>

4月の自動車(新車)新規登録台数は12,617台(前年同月比 6.2%増)と、3か月ぶりに前年実績を上回った。

車種別にみると、乗用車(前年同月比 4.3%増)が3か月ぶり、軽自動車(同 8.4%増)が2か月ぶりに前年実績を上回った。

<最近の動き>

	30年9月	10月	11月	12月	31年1月	2月	3月	4月
登録台数(台)	16,766	14,092	14,723	13,208	15,664	17,761	22,140	12,617
前年同月比(%)	▲ 2.3	13.8	9.6	1.2	2.0	▲ 0.7	▲ 4.6	6.2
(参考)全国前年同月比(%)	▲ 3.3	11.6	7.4	▲ 3.2	0.9	▲ 0.1	▲ 5.3	3.3

<資料>県税務課、日本自動車販売協会連合会

<車種別(新車)新規登録台数前年同月比の推移>

(単位：%)

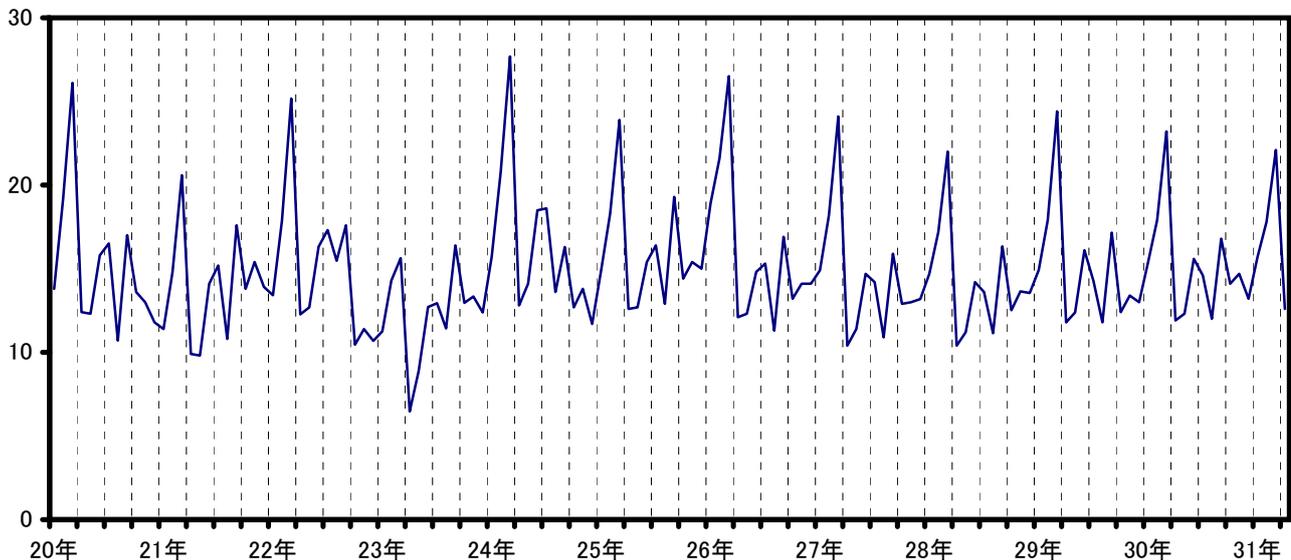
	30年9月	10月	11月	12月	31年1月	2月	3月	4月
全乗用車	▲ 2.3	13.8	9.6	1.2	2.0	▲ 0.7	▲ 4.6	6.2
乗用車	▲ 3.1	15.7	9.8	▲ 2.4	3.2	▲ 2.9	▲ 7.3	4.3
軽自動車	▲ 1.2	11.6	9.3	6.0	0.7	2.0	▲ 1.1	8.4

<資料>県税務課

<過去10年間の推移>

自動車(新車)新規登録台数(千台)

<資料>県税務課



(注)全国前年同月比は乗用車+軽乗用車

2 新設住宅着工戸数

4月 = 1,855 戸

*前年同月比： 7.9%減

<概況>

4月の新設住宅着工戸数は1,855戸で、前年同月比 7.9%減と、2か月ぶりに前年実績を下回った。

利用関係別にみると、持家（前年同月比 0.1%増）が8か月連続、分譲住宅（同 23.8%増）が2か月連続で前年実績を上回ったものの、貸家（同 35.0%減）が2か月ぶりに前年実績を下回った。

<最近の動き>

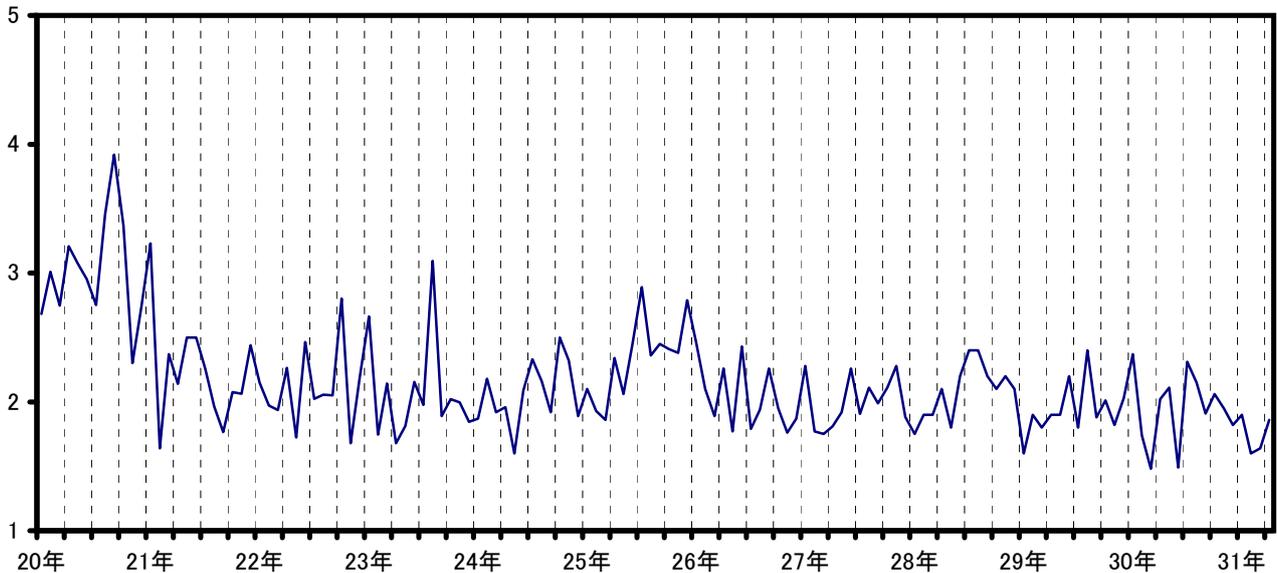
	30年9月	10月	11月	12月	31年1月	2月	3月	4月
戸数（戸）	1,908	2,059	1,950	1,821	1,897	1,603	1,642	1,855
前年同月比（%）	1.6	2.3	7.1	▲ 10.4	▲ 19.9	▲ 8.0	10.7	▲ 7.9
うち持家（%）	4.7	8.3	3.7	2.7	1.9	7.7	8.6	0.1
貸家（%）	▲ 10.2	▲ 7.5	19.2	▲ 25.3	▲ 11.8	▲ 8.4	15.8	▲ 35.0
分譲住宅（%）	36.4	5.8	▲ 2.0	▲ 15.6	▲ 61.1	▲ 36.7	8.1	23.8
(参考)全国前年同月比（%）	▲ 1.5	0.3	▲ 0.6	2.1	1.1	4.2	10.0	▲ 5.7

<資料>県住まいづくり課

<過去10年間の推移>

新設住宅着工戸数(千戸)

<資料>県住まいづくり課



3 公共工事請負金額

4 月 = 81,539百万円

* 前年同月比： 32.7%増

(建設保証会社保証実績)

<概況>

4月の公共工事の請負金額（工事場所ベース）は81,539百万円で、前年同月比 32.7%増となり、2か月ぶりに前年実績を上回った。また、取扱い件数（工事場所ベース）は559件で、前年同月比 4.6%減となり、2か月ぶりに前年実績を下回った。

<最近の動き>

	30年9月	10月	11月	12月	31年1月	2月	3月	4月
金額（百万円）	41,187	23,847	14,829	22,329	9,431	10,706	14,499	81,539
前年同月比（%）	▲ 9.9	12.5	6.2	70.9	▲ 1.5	28.6	▲ 11.4	32.7
年度累計前年同月比（%）	8.3	8.7	8.6	11.8	11.3	11.8	10.5	32.7
件数（件）	1,185	738	690	719	315	166	268	559
前年同月比（%）	▲ 13.6	1.2	3.4	3.6	▲ 14.6	▲ 10.3	37.4	▲ 4.6
年度累計前年同月比（%）	3.9	3.6	3.5	3.5	2.6	2.3	3.2	▲ 4.6

<資料>東日本建設業保証(株)静岡支店

<発注者別請負金額前年同月比の推移>

(単位：%)

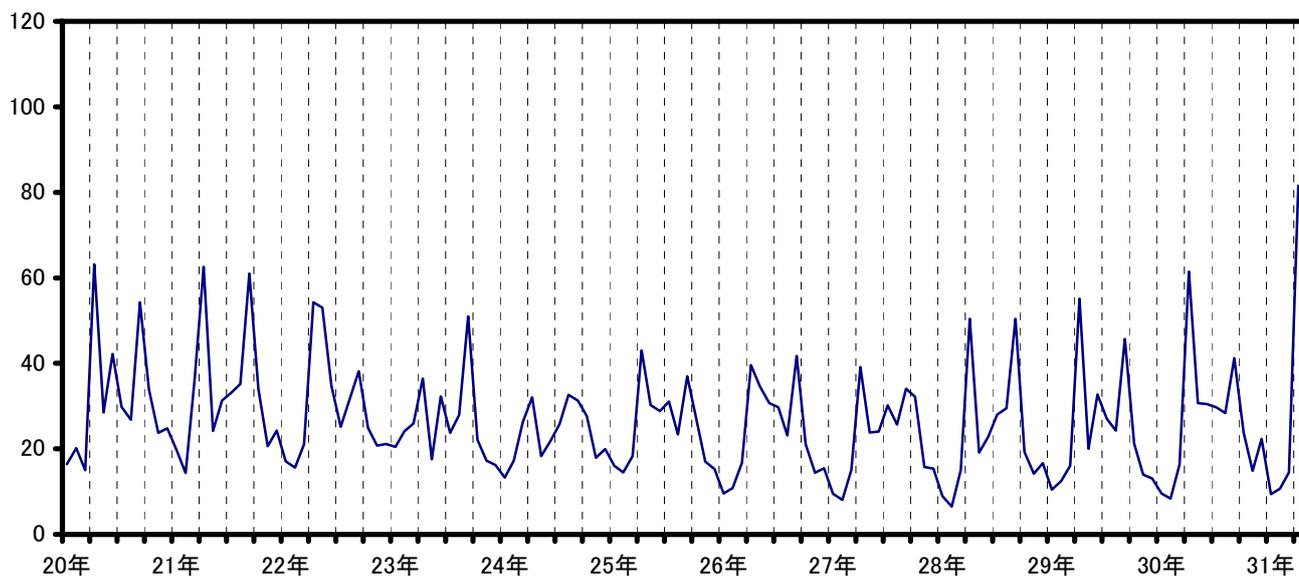
	30年9月	10月	11月	12月	31年1月	2月	3月	4月
国	▲ 54.8	▲ 25.9	▲ 29.2	8,054.0	130.2	58.0	43.6	64.0
独立行政法人等	238.5	424.5	164.3	▲ 4.1	▲ 4.8	▲ 21.9	▲ 79.9	53.4
県	▲ 12.0	2.4	▲ 12.1	18.4	▲ 62.0	35.0	▲ 49.5	▲ 14.7
市 町	▲ 16.2	14.6	▲ 0.8	98.3	68.3	35.2	34.1	42.6
地方公社	▲ 32.1	290.5	467.9	912.0	▲ 98.3	-	-	2.1
その他の	▲ 59.7	▲ 58.2	440.5	511.2	14.7	19.1	647.0	34.2

<資料>東日本建設業保証(株)静岡支店

<過去10年間の推移>

公共工事請負金額(十億円)

<資料>東日本建設業保証(株)静岡支店



4 設備投資

<概況>

平成30年度の設備投資（含む土地投資）、ソフトウェア・研究開発を含む設備投資（除く土地投資）は、製造業、非製造業、全産業においていずれも増加の計画となっている。

平成31年度の設備投資（含む土地投資）は、製造業（前年度比 15.3%増）で増加、非製造業（同 4.5%減）で減少し、全産業（同 5.7%増）では増加する計画となっている。また、ソフトウェア・研究開発を含む設備投資（除く土地投資）は、製造業（前年度比 8.0%増）で増加、非製造業（同 3.1%減）で減少し、全産業（同 5.0%増）では増加する計画となっている。

4月の着工建築物床面積（非居住用）は79,421㎡で、前年同月比 19.9%減となり、3か月ぶりに前年実績を下回った。

<企業短期経済観測調査結果>（前年度比% 設備投資（含む土地投資）

		30年度 (計画)	31年度 (計画)
全産業	県	(1.5) 10.3	5.7
	全国	(0.0) 10.4	▲2.8
製造業	県	(▲3.4) 6.2	15.3
	全国	(▲3.8) 11.1	2.0
非製造業	県	(7.3) 15.0	▲4.5
	全国	(2.4) 10.0	▲5.6

（ ）内は前回調査比修正率 ソフトウェア・研究開発を含む設備投資（除く土地投資）

		30年度 (計画)	31年度 (計画)
全産業	県	(0.5) 11.4	5.0
	全国	(▲0.5) 9.1	0.4
製造業	県	(▲1.6) 10.0	8.0
	全国	(▲1.7) 8.4	2.0
非製造業	県	(6.6) 15.3	▲3.1
	全国	(0.8) 9.7	▲1.3

（注1）平成29年3月調査分から半期計数の掲載を取り止め、年度計数のみを掲載

（注2）平成29年3月調査分から「ソフトウェア・研究開発を含む設備投資（除く土地投資）」を追加

<資料>日本銀行静岡支店「静岡県の企業短期経済観測調査結果(平成31年3月調査)」

日本銀行調査統計局「全国企業短期経済観測調査」(平成31年3月調査)」

<最近の動き>

	30年9月	10月	11月	12月	31年1月	2月	3月	4月
着工建築物床面積（非居住用）（㎡）	236,654	115,833	87,374	212,110	68,477	153,005	76,766	79,421
前年同月比（%）	187.3	▲1.5	▲9.6	94.6	▲21.0	24.1	21.0	▲19.9
(参考) 全国前年同月比（%）	▲7.3	▲3.2	▲7.0	15.3	1.0	▲15.1	▲19.3	▲4.0

（注3）着工建築物床面積は公共と民間の合計のうち、非居住用

<資料>国土交通省

<参考 県内企業の業況判断D. I. >

	30年12月	31年3月	31年6月 (予測)
全産業	14	11	7
製造業	14	9	5
非製造業	14	13	7
(参考) 全国・全産業	16	12	7

（注4）業況判断D. I. : 「良い」-「悪い」回答社数構成比%ポイント

<資料> 日本銀行静岡支店「静岡県の企業短期経済観測調査結果(平成31年3月調査)」

5 輸出

4 月 = 170,147百万円

* 前年同月比： 9.7%減

(清水税関支署管内通関実績)

<概況>

4月の清水税関支署管内の輸出総額は170,147百万円で、前年同月比 9.7%減となり、3か月ぶりに前年実績を下回った。

主要な品目別にみると、科学光学機器（前年同月比 25.9%増）が3か月連続で前年実績を上回ったものの、原動機（同 4.6%減）が3か月ぶり、エアコン（同 16.0%減）、二輪自動車類（同 31.8%減）がいずれも2か月連続、自動車（同 38.3%減）、自動車の部分品（同 13.0%減）がいずれも2か月ぶりに前年実績を下回った。

地域別にみると、米国向け（前年同月比 3.4%増）が2か月ぶりに前年実績を上回ったものの、アジア向け（同 4.0%減）が3か月ぶり、EU向け（同 24.0%減）が5か月ぶりに前年実績を下回った。

<最近の動き>

	30年9月	10月	11月	12月	31年1月	2月	3月	4月
輸出総額(百万円)	192,381	186,631	180,101	211,171	151,102	180,525	201,905	170,147
前年同月比(%)	9.3	0.6	0.7	6.0	▲ 4.0	3.6	8.0	▲ 9.7

<資料>清水税関支署

<主要品目別前年同月比の推移>

(単位:%)

	30年9月	10月	11月	12月	31年1月	2月	3月	4月
原動機	29.1	38.9	21.1	15.9	▲ 0.9	10.9	8.6	▲ 4.6
エアコン	2.2	▲ 20.4	▲ 8.1	16.6	▲ 5.0	30.4	▲ 13.5	▲ 16.0
自動車	33.3	▲ 25.8	▲ 11.6	10.0	165.9	▲ 13.5	77.2	▲ 38.3
自動車の部分品	12.1	▲ 2.8	▲ 9.6	▲ 4.9	▲ 13.2	▲ 7.6	0.8	▲ 13.0
二輪自動車類	▲ 19.2	▲ 17.9	▲ 7.8	▲ 0.5	▲ 8.6	2.7	▲ 15.7	▲ 31.8
科学光学機器	▲ 14.8	▲ 5.4	▲ 10.8	▲ 30.7	▲ 17.6	5.0	25.0	25.9

<資料>清水税関支署

<地域別前年同月比の推移>

(単位:%)

	30年9月	10月	11月	12月	31年1月	2月	3月	4月
アジア	9.1	2.8	▲ 0.3	▲ 2.8	▲ 12.2	2.5	5.1	▲ 4.0
米国	2.5	18.7	11.0	2.4	▲ 4.3	8.1	▲ 0.1	3.4
EU	25.0	▲ 20.0	▲ 7.4	17.6	20.0	7.0	30.6	▲ 24.0

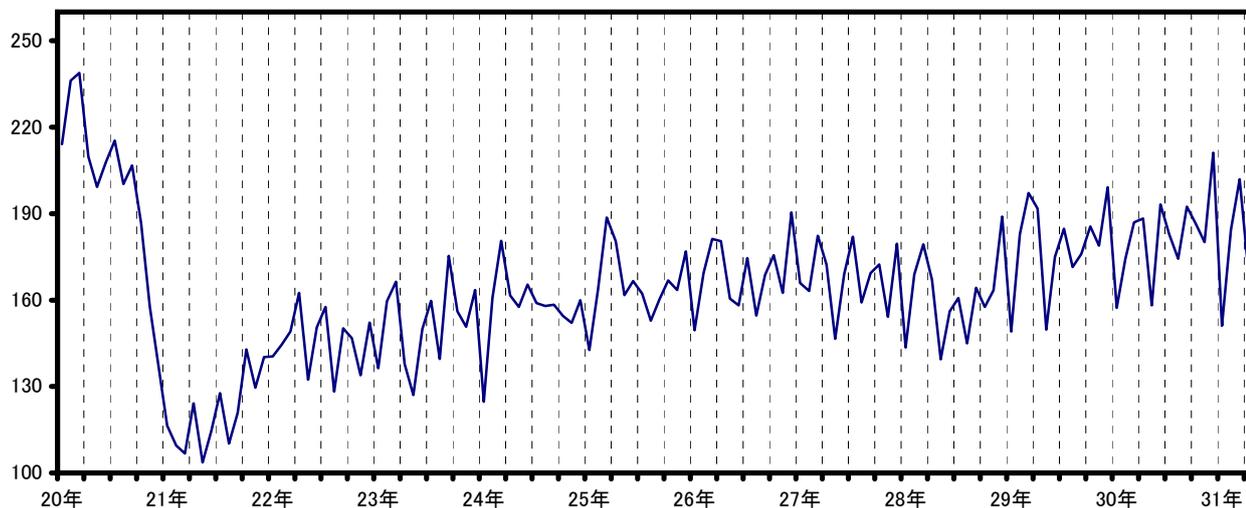
<資料>清水税関支署

(注) 管内とは、清水港(焼津、沼津、浜松、興津の各出張所及び下田監視所含む)、田子の浦港、御前崎港、静岡空港の4つをいう。
なお、数値は、通関手続きが行われた金額である。輸入も同様。

<過去10年間の推移>

清水税関支署管内通関実績輸出額(十億円)

<資料>清水税関支署



6 輸入

4月 = 101,284百万円

*前年同月比： 8.0%増

(清水税関支署管内通関実績)

<概況>

4月の清水税関支署管内の輸入総額は101,284百万円で、前年同月比 8.0%増となり、2か月連続で前年実績を上回った。

主要な品目別にみると、パルプ（前年同月比 3.8%減）が3か月連続、自動車の部分品（同 14.0%減）が3か月ぶりに前年実績を下回ったものの、魚介類及び同調製品（同 21.8%増）、原動機（同 45.7%増）がいずれも2か月ぶり、木材（同 1.6%増）、紙類及び同製品（同 17.9%増）がいずれも2か月連続で前年実績を上回った。

地域別では、米国から（前年同月比 20.4%減）が2か月ぶりに前年実績を下回ったものの、アジアから（同 8.9%増）が7か月連続、EUから（同 42.2%増）が2か月ぶりに前年実績を上回った。

<最近の動き>

	30年9月	10月	11月	12月	31年1月	2月	3月	4月
輸入総額(百万円)	84,671	105,004	97,059	100,856	104,381	77,463	90,871	101,284
前年同月比(%)	1.2	43.2	8.3	13.1	16.2	▲9.1	15.3	8.0

<資料>清水税関支署

<主要品目別前年同月比の推移>

(単位:%)

	30年9月	10月	11月	12月	31年1月	2月	3月	4月
魚介類及び同調製品	▲15.5	35.3	▲21.6	4.3	▲7.3	0.7	▲21.4	21.8
木材	▲21.5	2.3	▲26.4	▲12.0	8.7	▲26.3	2.1	1.6
パルプ	▲24.0	81.0	13.8	▲27.5	37.5	▲29.0	▲16.1	▲3.8
紙類及び同製品	9.4	5.2	▲18.6	8.8	37.1	▲11.0	9.7	17.9
原動機	▲21.0	40.0	53.9	▲1.2	87.9	36.4	▲10.4	45.7
自動車の部分品	33.2	30.7	44.4	61.6	▲6.0	6.8	2.7	▲14.0

<資料>清水税関支署

<地域別前年同月比の推移>

(単位:%)

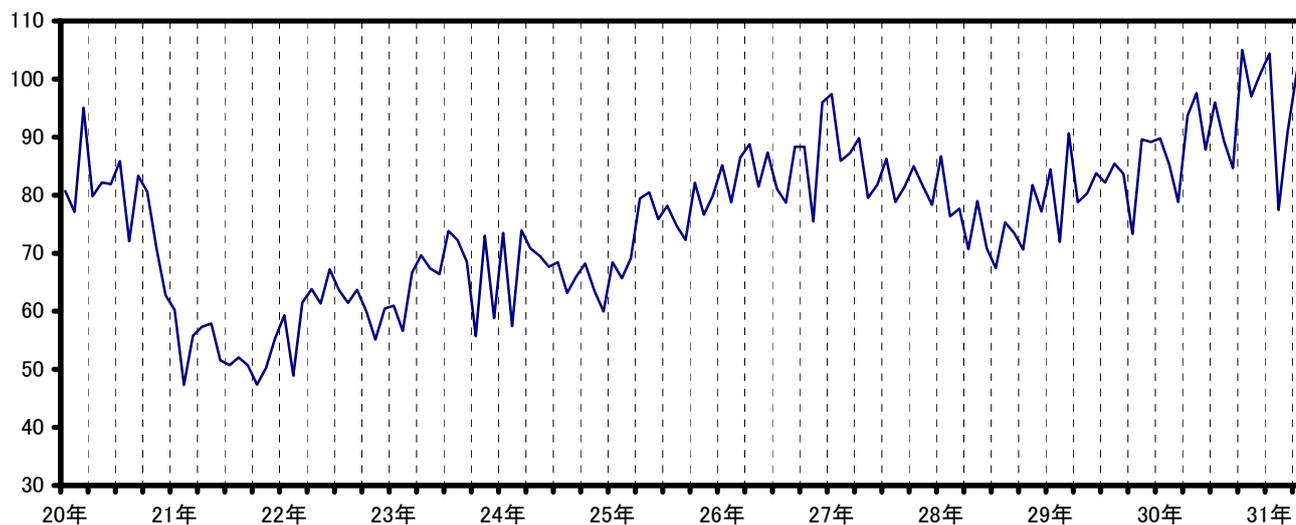
	30年9月	10月	11月	12月	31年1月	2月	3月	4月
アジア	▲5.7	35.1	25.7	9.3	11.0	3.5	13.8	8.9
米国	▲19.9	▲13.8	2.4	▲2.8	16.4	▲27.1	22.5	▲20.4
EU	2.0	55.9	▲5.2	▲7.4	▲14.0	17.1	▲4.0	42.2

<資料>清水税関支署

<過去10年間の推移>

清水税関支署管内通関実績輸入額(十億円)

<資料>清水税関支署



生産面

1 生産

(1) 鉱工業生産指数

3月 = 105.6

(平成27年=100、鉱工業総合、季節調整済指数)

*前月比(季節調整済指数) : 4.5%増

*前年同月比(原指数) : 同水準

<概況>

3月の鉱工業生産指数(総合)は105.6(季節調整済指数)で、前月比4.5%増と、5か月ぶりに上昇した。また、前年同月比(原指数)は前年と同水準だった。

業種別にみると、輸送機械(前年同月比3.9%減)が2か月連続、パルプ・紙・紙加工品(同2.4%減)が3か月ぶりに前年水準を下回ったものの、はん用・生産用・業務用機械(同1.0%増)が8か月連続、電気機械(同1.2%増)が15か月連続、食料品・たばこ(同7.0%増)が2か月ぶりに前年水準を上回った。化学は前年と同水準だった。

<最近の動き>

	30年8月	9月	10月	11月	12月	31年1月	2月	3月
指数	104.6	107.6	109.0	107.7	107.1	104.0	101.1	105.6
前月比(%)	1.7	2.9	1.3	▲1.2	▲0.6	▲2.9	▲2.8	4.5
前年同月比(%)	1.5	2.3	4.2	5.2	2.1	4.6	0.5	0.0
(参考)全国前年同月比(%)	0.2	▲2.5	4.2	1.5	▲1.9	0.0	▲1.0	▲4.6

(注)平成27年=100、鉱工業総合、指数:季節調整済、前年同月比:原指数

<資料>県統計調査課、経済産業省

<県内業種別鉱工業生産指数前年同月比の推移>

(単位:%)

	30年8月	9月	10月	11月	12月	31年1月	2月	3月
はん用・生産用・業務用機械工業	2.2	8.4	4.1	6.0	1.6	19.0	6.7	1.0
電気機械工業	13.9	23.8	22.7	11.3	6.8	13.2	13.9	1.2
輸送機械工業	▲2.9	▲1.0	▲0.4	2.1	0.7	0.0	▲5.6	▲3.9
化学工業	7.5	▲2.0	5.1	9.7	▲0.8	1.1	4.4	0.0
パルプ・紙・紙加工品工業	1.1	▲0.2	▲0.1	2.6	▲3.3	0.1	1.0	▲2.4
食料品・たばこ工業	▲4.9	▲0.1	6.5	4.8	3.4	4.8	▲4.6	7.0

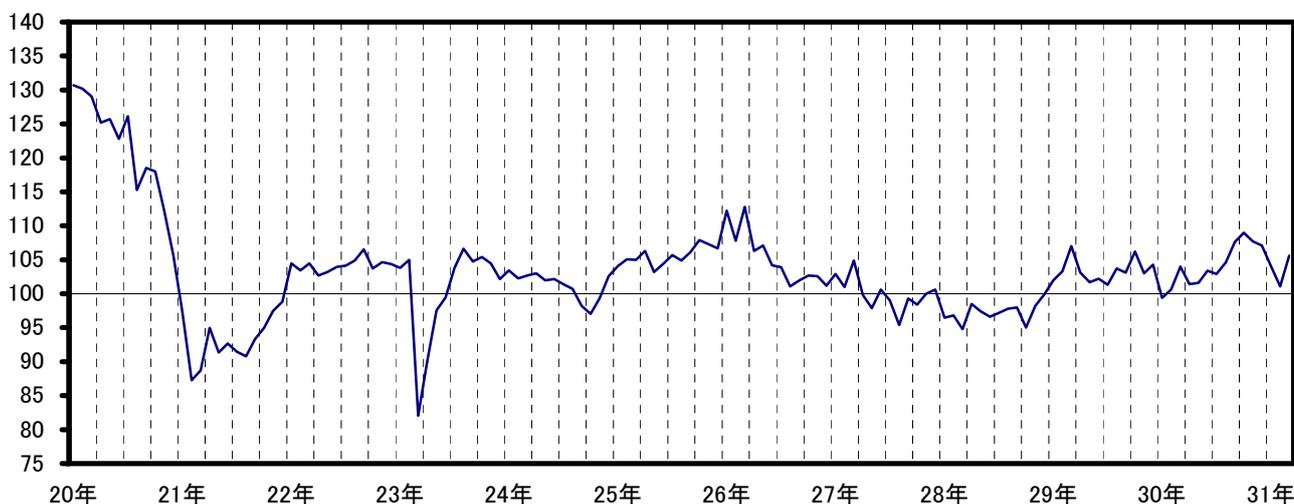
(注)平成27年=100、鉱工業総合、前年同月比:原指数

<資料>県統計調査課

<過去10年間の推移>

鉱工業生産指数(総合、平成27年=100)

<資料>県統計調査課



(2) 鋳工業在庫指数

3月 = 114.8

(平成27年=100、鋳工業総合、季節調整済指数)

*前月比(季節調整済指数) : 6.2%増

*前年同月比(原指数) : 2.1%増

<概況>

3月の鋳工業在庫指数(総合)は114.8(季節調整済指数)で、前月比は6.2%増と、3か月ぶりに上昇した。また、前年同月比(原指数)は2.1%増と、8か月連続で前年水準を上回った。

なお、在庫動向を在庫循環図でみると、今期は「在庫積み上がり局面(景気後退初期)」に該当する。

業種別にみると、輸送機械(前年同月比38.2%減)が3か月連続、パルプ・紙・紙加工品(同1.5%減)が21か月連続で前年水準を下回ったものの、はん用・生産用・業務用機械(同16.6%増)、電気機械(同0.3%増)がいずれも3か月連続、化学(同15.2%増)が24か月連続、食料品・たばこ(同12.5%増)が2か月ぶりに前年水準を上回った。

<最近の動き>

	30年8月	9月	10月	11月	12月	31年1月	2月	3月
指数	109.0	116.8	111.0	108.5	114.1	108.8	108.1	114.8
前月比(%)	4.6	7.2	▲5.0	▲2.3	5.2	▲4.6	▲0.6	6.2
前年同月比(%)	3.9	11.8	1.5	1.9	9.9	4.8	0.2	2.1
(参考)全国前年同月比(%)	2.8	3.5	▲0.7	0.6	1.9	1.2	1.4	0.4

(注)平成27年=100、鋳工業総合、指数:季節調整済、前年同月比:原指数

<資料>県統計調査課、経済産業省

<県内業種別鋳工業在庫指数前年同月比の推移>

(単位:%)

	30年8月	9月	10月	11月	12月	31年1月	2月	3月
はん用・生産用・業務用機械工業	1.7	▲3.4	▲3.1	0.6	▲0.7	12.2	13.7	16.6
電気機械工業	▲10.5	▲4.0	▲6.2	▲7.8	▲3.8	4.4	1.0	0.3
輸送機械工業	▲8.7	2.1	▲9.0	▲9.0	0.8	▲25.1	▲41.4	▲38.2
化学工業	24.9	61.2	22.7	15.4	56.7	36.1	26.1	15.2
パルプ・紙・紙加工品工業	▲4.6	▲1.3	▲8.4	▲7.2	▲11.1	▲6.7	▲4.0	▲1.5
食料品・たばこ工業	▲0.1	▲1.0	0.2	14.1	4.2	0.9	▲7.7	12.5

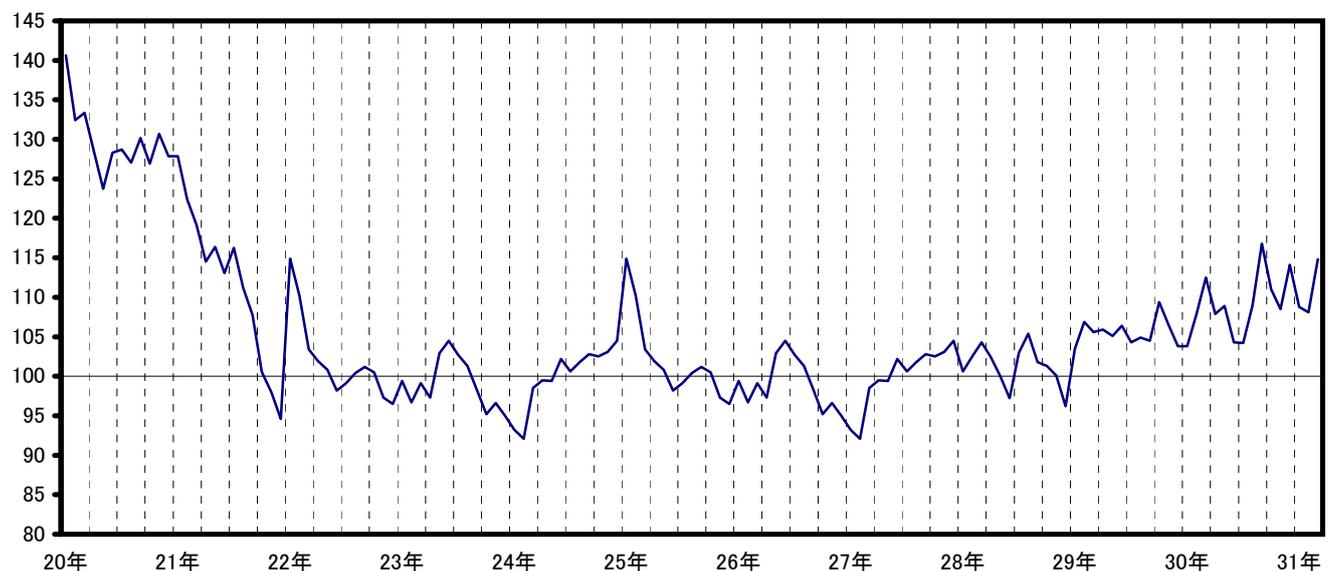
(注)平成27年=100、鋳工業総合、前年同月比:原指数

<資料>県統計調査課

<過去10年間の推移>

鋳工業在庫指数(総合、平成27年=100)

<資料>県統計調査課



雇 用 面

1 雇 用

(1) 有効求人倍率

4 月 = 1.61倍

*前月比 (季節調整値) : 0.06ポイント減

(季節調整値、学卒を除き、パートタイムを含む)

<概 況>

4月の有効求人倍率(季節調整値、学卒を除き、パートタイムを含む)は1.61倍となり、前月を0.06ポイント下回った。また、30か月ぶりに全国値を下回った。新規求人(学卒、パートタイムを除く)(前年同月比5.8%減)は8か月連続で前年実績を下回った。

産業別にみると、運輸業・郵便業(前年同月比0.1%増)が2か月連続、サービス業(他に分類されないもの)(同1.7%増)が3か月ぶりに前年実績を上回ったものの、建設業(同4.9%減)が2か月連続、製造業(同6.5%減)が5か月連続、情報通信業(同41.5%減)が8か月連続、卸売業・小売業(同25.4%減)が2か月ぶり、医療・福祉(同6.2%減)が11か月連続で前年実績を下回った。

<最近の動き>

(単位:倍)

	30年9月	10月	11月	12月	31年1月	2月	3月	4月
県	1.69	1.66	1.66	1.66	1.69	1.69	1.67	1.61
全 国	1.63	1.62	1.63	1.63	1.63	1.63	1.63	1.63

(注)季節調整値、学卒を除き、パートタイムを含む

<資料>厚生労働省

<産業別新規求人前年同月比の推移>

(単位:%)

	30年9月	10月	11月	12月	31年1月	2月	3月	4月
建 設 業	▲ 10.4	▲ 8.5	▲ 1.2	▲ 12.1	▲ 10.0	9.0	▲ 15.2	▲ 4.9
製 造 業	▲ 4.8	16.7	10.5	▲ 9.8	▲ 5.8	▲ 0.4	▲ 11.6	▲ 6.5
情 報 通 信 業	▲ 11.4	▲ 31.1	▲ 3.7	▲ 8.7	▲ 45.5	▲ 11.8	▲ 10.7	▲ 41.5
運 輸 業 ・ 郵 便 業	▲ 3.5	6.5	17.1	▲ 8.8	3.4	▲ 2.5	7.8	0.1
卸 売 業 ・ 小 売 業	▲ 9.1	▲ 11.4	▲ 14.1	19.3	▲ 11.1	▲ 11.9	7.2	▲ 25.4
医 療 ・ 福 祉	▲ 2.9	▲ 10.1	▲ 4.4	▲ 0.6	▲ 12.1	▲ 3.0	▲ 1.8	▲ 6.2
サービス業(他に分類されないもの)	▲ 18.1	▲ 4.5	▲ 1.4	▲ 26.1	11.4	▲ 13.0	▲ 15.3	1.7
合 計	▲ 9.1	▲ 1.3	▲ 0.2	▲ 6.9	▲ 3.1	▲ 2.3	▲ 6.6	▲ 5.8

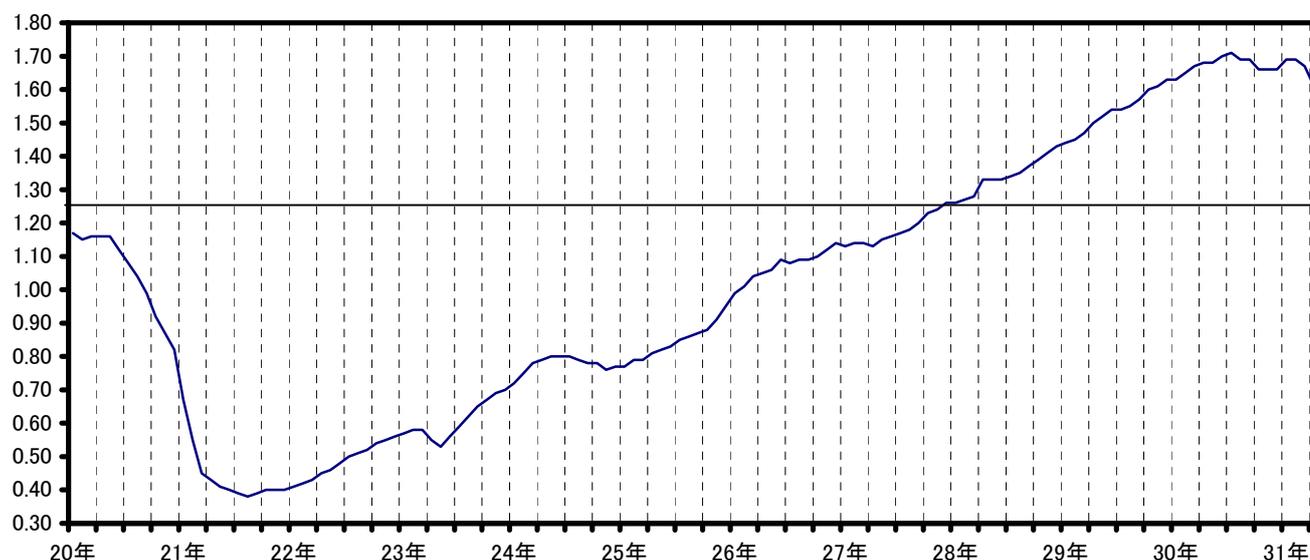
(注)学卒、パートタイムを除く

<資料>厚生労働省

<過去10年間の推移>

有効求人倍率(学卒を除き、パートタイムを含む)(倍)

<資料>厚生労働省



(2) 雇用保険受給者実人員

4月 = 9,725人

*前月比: 2.7%増

*前年同月比: 5.3%増

<概況>

4月の雇用保険受給者実人員は9,725人で、前月比は2.7%増と、3か月ぶりに前月を上回った。また、前年同月比は5.3%増と2か月連続で前年実績を上回った。

完全失業率(全国)は2.4%で、前月から0.1ポイント改善した。

静岡県(平成31年1~3月)の完全失業率は1.7%で、前期(30年10~12月)から0.1ポイント改善した。

<最近の動き>

	30年9月	10月	11月	12月	31年1月	2月	3月	4月
実人員(人)	10,605	10,885	10,196	9,577	9,922	9,522	9,466	9,725
前月比(%)	▲7.0	2.6	▲6.3	▲6.1	3.6	▲4.0	▲0.6	2.7
前年同月比(%)	▲5.6	▲2.0	▲6.0	▲6.8	▲2.3	▲1.1	0.1	5.3
(参考)全国前年同月比(%)	▲1.6	0.8	▲1.0	▲0.7	1.4	1.8	0.8	6.6

<資料>厚生労働省

<参考 完全失業率(全国)の推移>

	30年9月	10月	11月	12月	31年1月	2月	3月	4月
完全失業率(全国)(%)	2.3	2.4	2.5	2.4	2.5	2.3	2.5	2.4

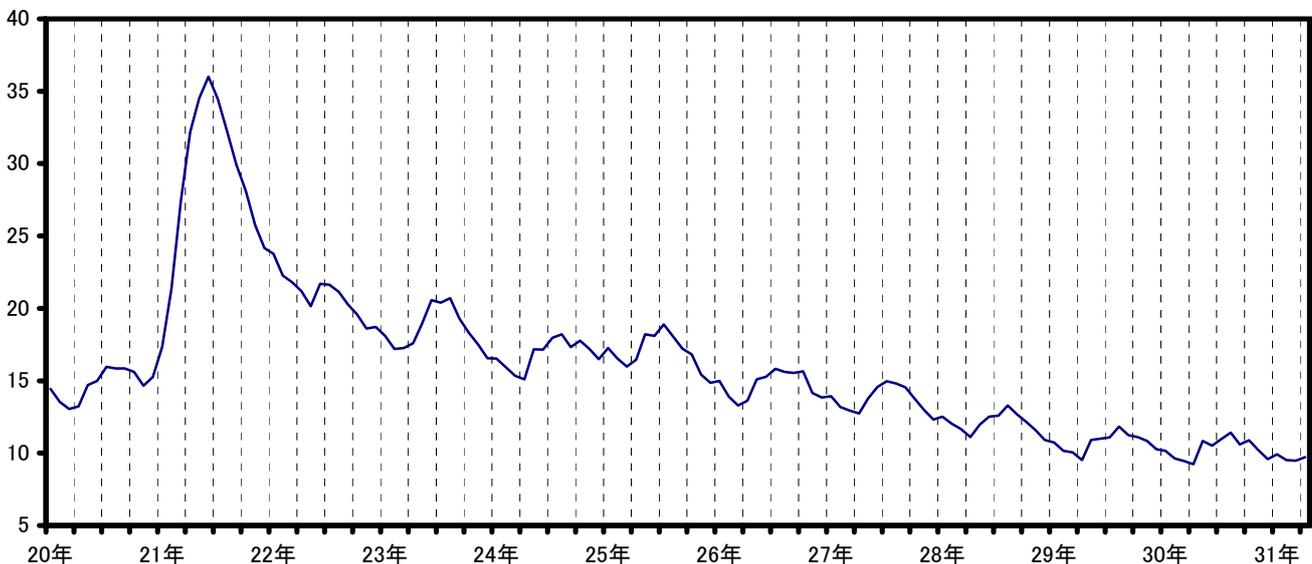
(注)季節調整値

<資料>総務省統計局

<過去10年間の推移>

雇用保険受給者実人員(千人)

<資料>厚生労働省



(3) 所定外労働時間指数

3月 = 92.9

*前月比(季節調整済指数): 2.4%減

(平成27年=100、事業所規模30人以上、調査産業計、季節調整済) *前年同月比(原指数) : 1.6%減

<概況>

3月の所定外労働時間指数(事業所規模30人以上、調査産業計)は92.9(季節調整済指数)で、前月比2.4%減となった。また、前年同月比(原指数)は1.6%減と2か月連続で前年実績を下回った。

業種別にみると、建設業(前年同月比151.5%増)、医療・福祉(同40.8%増)がいずれも3か月連続、情報通信業(同60.9%増)が17か月連続、卸売業・小売業(同4.3%増)が5か月連続、その他のサービス業(同15.6%増)が4か月連続で前年実績を上回ったものの、製造業(同9.7%減)が5か月連続、運輸業・郵便業(同3.6%減)が4か月連続で前年実績を下回った。

<最近の動き>

	30年8月	9月	10月	11月	12月	31年1月	2月	3月
指数	98.0	91.1	96.4	97.3	91.5	95.1	95.2	92.9
前月比(%)	0.2	▲7.0	5.8	0.9	▲6.0	3.9	0.1	▲2.4
前年同月比(%)	▲3.8	▲13.4	▲7.3	▲7.7	▲8.7	2.4	▲0.7	▲1.6
(参考)全国前年同月比(%)	▲1.6	▲2.4	0.8	▲0.7	▲3.0	0.9	0.8	▲0.8

*平成27年=100、事業所規模30人以上、調査産業計、指数:季節調整済指数、前年同月比:原指数

<資料>県統計調査課

<県内業種別所定外労働時間指数前年同月比の推移>

(単位:%)

	30年8月	9月	10月	11月	12月	31年1月	2月	3月
建設業	▲53.1	▲62.4	▲44.6	▲52.6	▲49.0	163.6	159.3	151.5
製造業	▲1.7	▲7.0	1.6	▲3.3	▲3.6	▲5.4	▲6.4	▲9.7
情報通信業	105.0	85.7	105.8	88.8	71.4	57.5	52.6	60.9
運輸業・郵便業	▲7.7	▲10.1	▲10.5	1.5	▲2.7	▲3.7	▲17.8	▲3.6
卸売業・小売業	4.4	6.4	▲2.6	21.0	11.7	11.6	15.7	4.3
医療・福祉	▲1.4	▲20.4	▲16.1	2.8	▲11.7	6.1	30.1	40.8
その他のサービス業	10.1	6.8	7.4	▲2.4	4.2	20.8	11.0	15.6
調査産業計	▲3.8	▲13.4	▲7.3	▲7.7	▲8.7	2.4	▲0.7	▲1.6

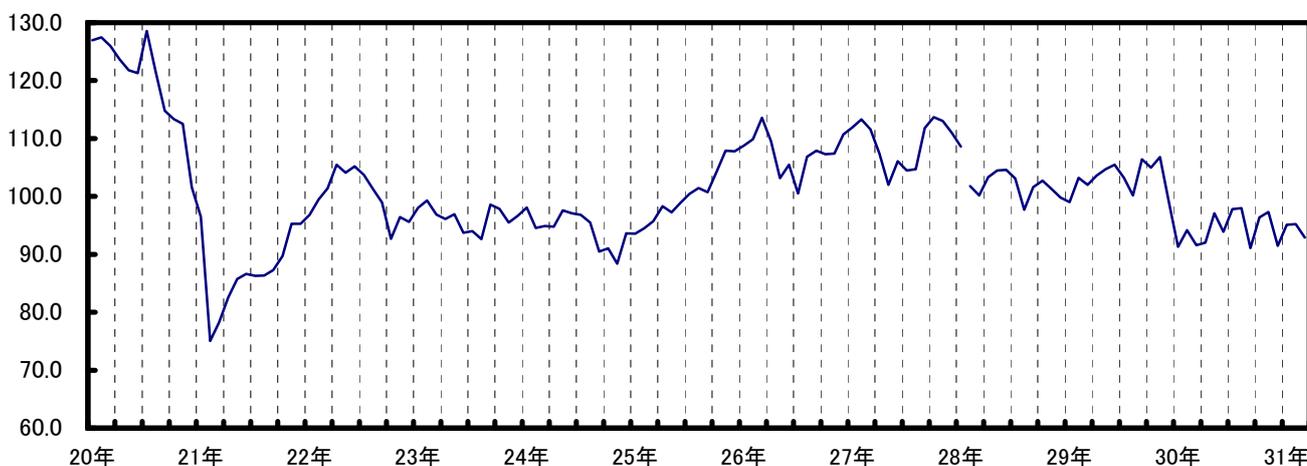
*平成27年=100、事業所規模30人以上、前年同月比:原指数

<資料>県統計調査課

<過去10年間の推移>

所定外労働時間指数(事業所規模30人以上、平成27年=100)

<資料>県統計調査課



そ の 他

1 物 価

国内企業物価指数

5 月 = 101.8

(平成27年=100)

*前 月 比: 0.1%下落

*前年同月比: 0.7%上昇

<概 況>

5月の国内企業物価指数は101.8となり、前月比は0.1%の下落となった。また、前年同月比は0.7%の上昇となった。

<最近の動き>

	30年10月	11月	12月	31年1月	2月	3月	4月	5月
国内企業物価指数	102.4	102.1	101.5	100.9	101.2	101.5	101.9	101.8
前 月 比 (%)	0.4	▲ 0.3	▲ 0.6	▲ 0.6	0.3	0.3	0.4	▲ 0.1
前年同月比 (%)	3.0	2.3	1.5	0.6	0.9	1.3	1.3	0.7

*平成27年=100

<資料>日本銀行

2 金 融

(1) 県内金融機関貸出残高

4 月 = 136,078億円

(銀行、信用金庫)

*前 月 比: 1.7%減

*前年同月比: 2.2%減

<概 況>

4月末の県内の銀行と信用金庫の貸出残高は136,078億円で、前月比は1.7%の減少となった。また、前年同月比は2.2%の減少となった。

	30年9月	10月	11月	12月	31年1月	2月	3月	4月
貸出残高(億円)	138,887	137,361	137,406	138,841	137,565	137,331	138,361	136,078
前 月 比 (%)	0.6	▲ 1.1	0.0	1.0	▲ 0.9	▲ 0.2	0.8	▲ 1.7
前年同月比 (%)	▲ 1.5	▲ 1.4	▲ 1.6	▲ 1.9	▲ 1.5	▲ 1.5	▲ 1.6	▲ 2.2

<資料>日本銀行静岡支店

(2) 貸出約定金利

4 月 = 1.844%

(県内地銀4行総平均)

*前 月 差: 0.041ポイント減

*前年同月差: 0.226ポイント減

<概 況>

4月の県内地銀4行総平均の貸出約定金利(総合)は1.844%で、前月から0.041ポイントのマイナスとなった。なお、前年同月差は0.226ポイントのマイナスとなった。

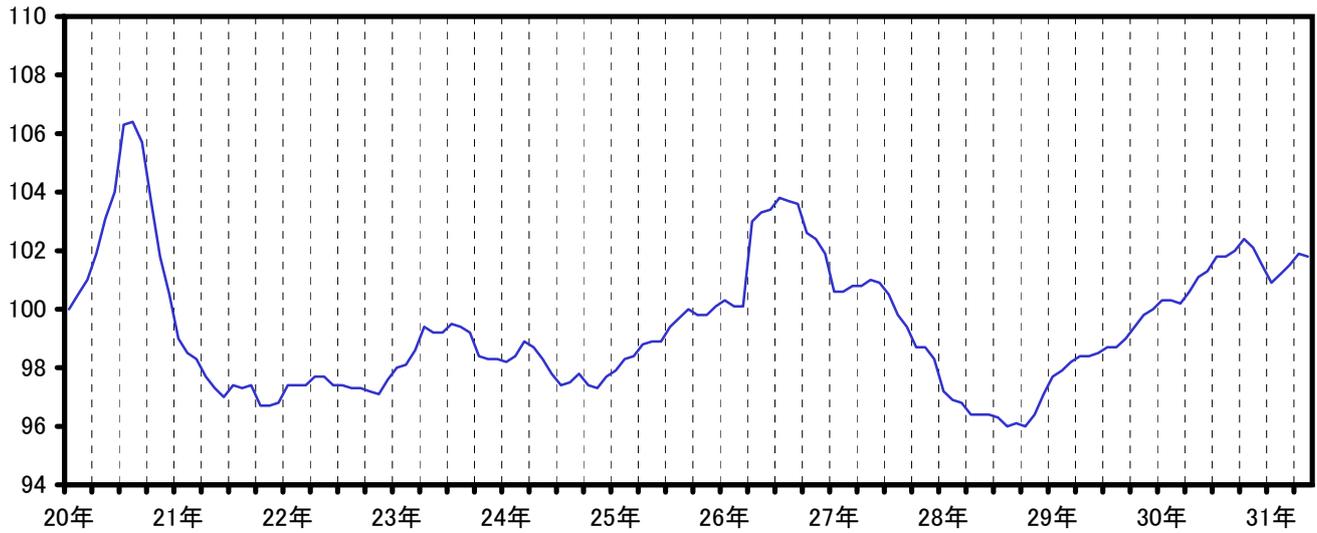
	30年9月	10月	11月	12月	31年1月	2月	3月	4月
貸出約定金利(%)	1.977	1.970	1.952	1.925	1.920	1.909	1.885	1.844
前月差(ポイント)	▲ 0.022	▲ 0.007	▲ 0.018	▲ 0.027	▲ 0.005	▲ 0.011	▲ 0.024	▲ 0.041
前年同月差(ポイント)	▲ 0.134	▲ 0.153	▲ 0.165	▲ 0.173	▲ 0.186	▲ 0.191	▲ 0.187	▲ 0.226

<資料>日本銀行静岡支店

<過去10年間の推移>

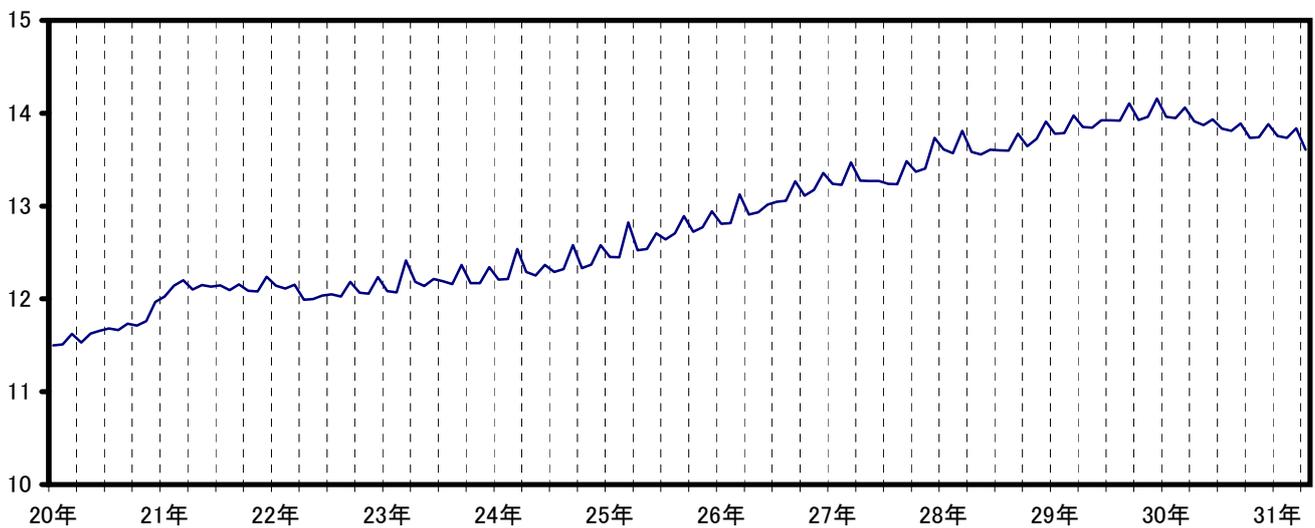
国内企業物価指数(平成27年=100)

<資料>日本銀行



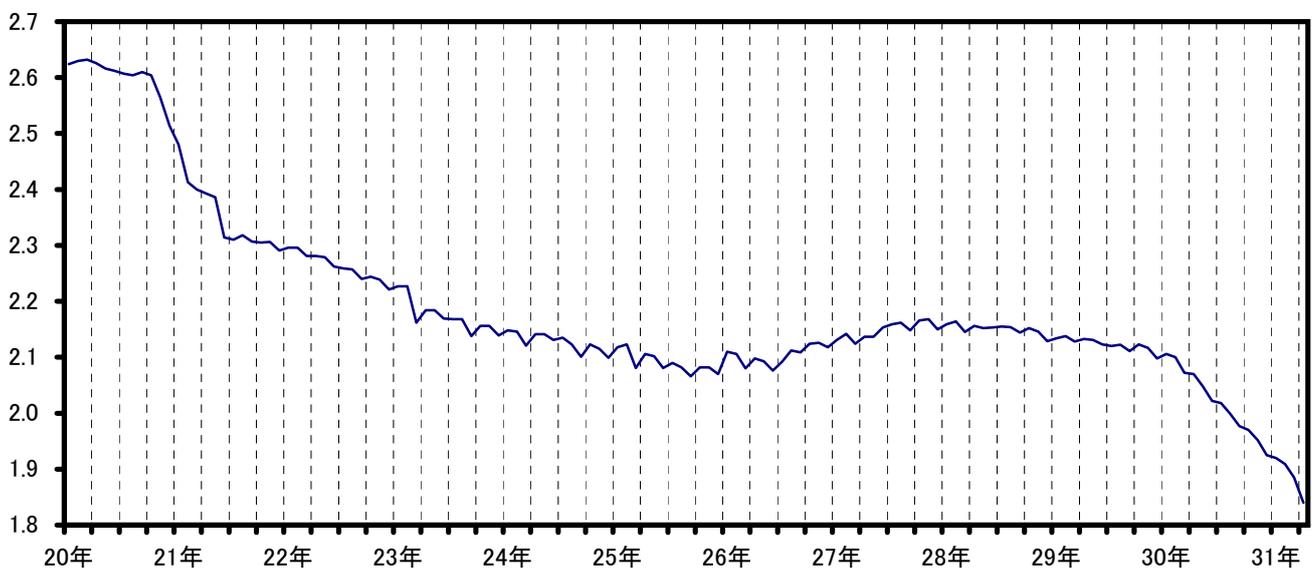
県内金融機関貸出残高(兆円)

<資料>日本銀行静岡支店



県内地銀平均貸出約定金利(%)

<資料>日本銀行静岡支店



(3) 信用保証協会保証金額**4月 = 11,215百万円**

*前年同月比： 7.2%減

<概況>

4月の保証承諾は、金額は11,215百万円（前年同月比 7.2%減）、件数は1,339件（同 5.8%減）と、いずれも6か月連続で前年実績を下回った。

<最近の動き>

	30年9月	10月	11月	12月	31年1月	2月	3月	4月
保証金額（百万円）	18,648	16,121	17,768	19,565	12,720	16,016	19,263	11,215
前年同月比（%）	▲ 3.5	1.5	▲ 12.0	▲ 16.3	▲ 6.7	▲ 7.5	▲ 20.2	▲ 7.2
保証件数（件）	1,859	1,692	1,744	1,889	1,340	1,593	1,927	1,339
前年同月比（%）	▲ 7.5	3.5	▲ 9.6	▲ 18.5	▲ 9.8	▲ 12.7	▲ 16.7	▲ 5.8

<資料>県信用保証協会

(4) 円相場**5月 = 109.83円/ドル**

*前月差： 1.83円高

（東京・銀行間直物中心・平均）

*前年同月差： 0.14円安

<概況>

5月の東京外国為替市場での対ドル平均円相場（銀行間直物）は109.83円で、前月と比べて1.83円の円高となり、4か月ぶりに円高となった。

<最近の動き>

	30年10月	11月	12月	31年1月	2月	3月	4月	5月
平均相場（円）	112.78	113.37	112.45	108.95	110.36	111.21	111.66	109.83
前月差（円）	0.89	0.59	▲ 0.92	▲ 3.50	1.41	0.85	0.45	▲ 1.83
前年同月差（円）	▲ 0.18	0.45	▲ 0.52	▲ 1.82	2.54	1.52	4.23	0.14

▲…円高

（注）東京外国為替相場・銀行間直物中心相場・平均

3 企業経営**企業倒産件数****5月 = 17件**

*前年同月比： 29.1%減

<概況>

5月の負債総額 1,000万円以上の企業倒産は、件数は17件（前年同月比 29.1%減）と、前年同月比を下回り、負債総額は1,847百万円（同 39.7%減）と、前年実績を下回った。

原因別にみると、販売不振を原因とするいわゆる「不況型倒産」が14件と全体の82.4%を占め、258か月連続して50%以上となっている。

<最近の動き>

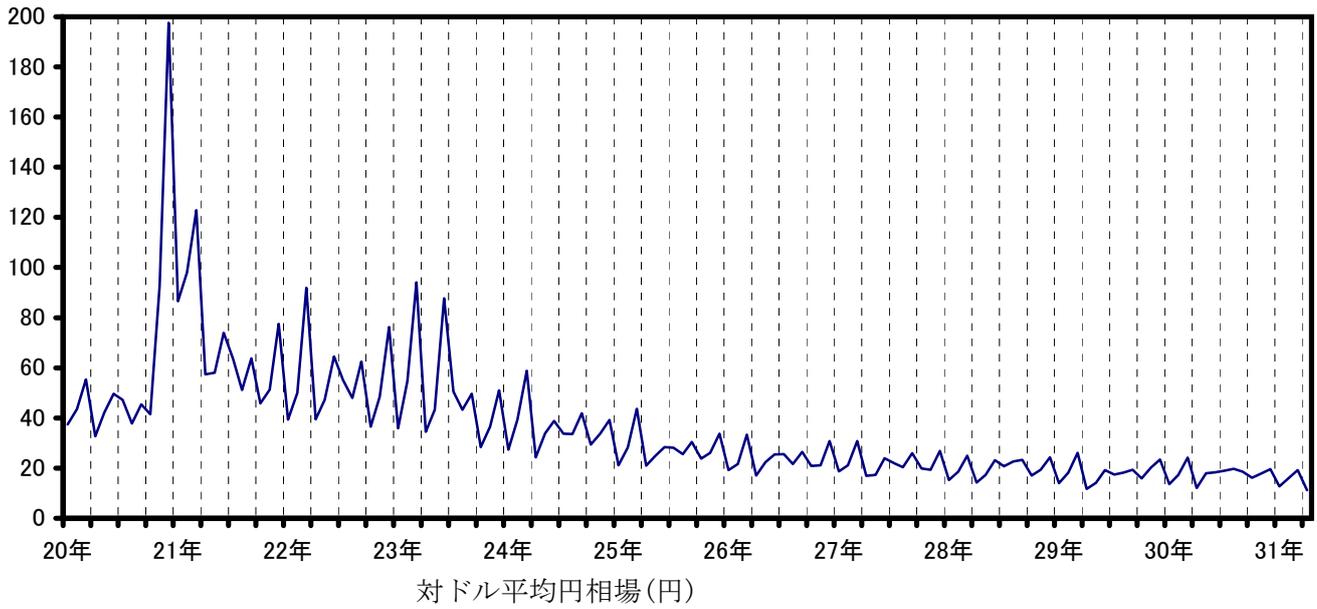
	30年10月	11月	12月	31年1月	2月	3月	4月	5月
倒産件数（件）	20	17	17	15	12	12	16	17
前年同月比（%）	▲ 13.0	▲ 19.0	13.3	▲ 16.6	▲ 45.4	▲ 53.8	33.3	▲ 29.1
うち不況型倒産件数（件）	15	15	17	15	9	12	15	14
負債総額（百万円）	3,587	2,238	2,489	1,235	1,495	4,320	2,457	1,847
前年同月比（%）	1.2	▲ 73.3	98.3	▲ 47.8	▲ 44.3	40.9	16.2	▲ 39.7

<資料>（株）東京商工リサーチ静岡支社

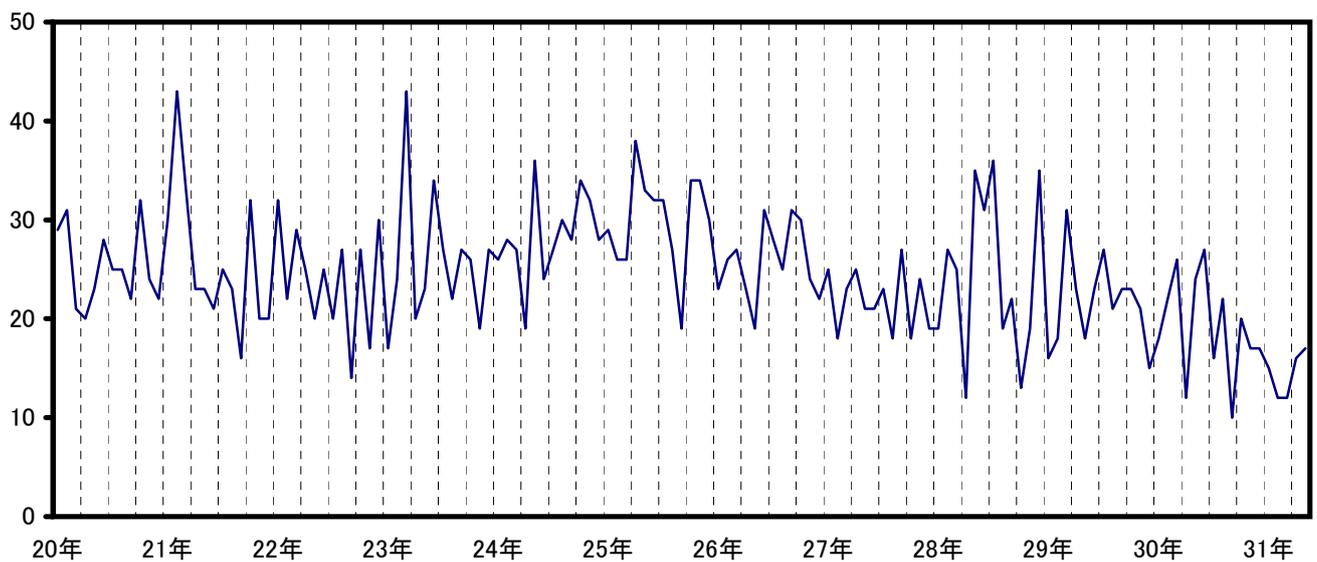
<過去10年間の推移>

信用保証協会保証承諾金額(十億円)

<資料>県信用保証協会



<資料>(株)東京商工リサーチ静岡支社



Ⅲ 平成31年4月を中心とした静岡県主要産業の動向

業 種	産 業 動 向
二 輪 車	<p>3月の国内二輪車生産台数は、49,102台（前年同月比19.2%減）で、4か月連続で前年実績を下回った。原付第一種（50cc以下）は、10,990台（同18.0%減）で、9か月ぶりに前年実績を下回った。原付第二種（51cc～125cc）は、3,085台（同11.0%減）で、2か月ぶりに前年実績を下回った。軽二輪車（126cc～250cc）は、3,024台（同4.8%減）で、6か月連続で前年実績を下回った。小型二輪車（251cc以上）は、32,003台（同21.4%減）で、4か月連続で前年実績を下回った。</p> <p>出荷台数は、国内向けは、38,049台（同0.3%増）で、7か月連続で前年実績を上回った。輸出向けは、39,442台（同20.5%減）で、4か月連続で前年実績を下回った。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞日本自動車工業会</p>
自 動 車	<p>3月の自動車国内生産台数は、900,593台（前年同月比4.1%減）と、3か月ぶりに前年実績を下回った。輸出は432,900台（同2.0%減）と、4か月ぶりに前年実績を下回った。</p> <p>国内生産は、乗用車が3か月ぶり、トラックが7か月ぶりに前年実績を下回ったことから、全体でも3か月ぶりに前年実績を下回った。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞日本自動車工業会</p>
電気機械	<p>4月の冷蔵庫の国内出荷額は309億円（前年同月比12.6%増）と、3か月連続で前年実績を上回り、国内出荷台数は275千台（同0.4%増）と、3か月連続で前年実績を上回った。</p> <p>4月のエアコンの国内出荷台数は、家庭向けは651千台（同21.8%増）と、15か月連続で前年実績を上回った。業務用は81千台（同32.7%増）と、7か月連続で前年実績を上回った。</p> <p>4月の携帯電話の国内出荷台数は、923千台（同15.2%増）と、2か月連続で前年実績を上回った。うち、スマートフォンは、465千台（同18.2%増）と、2か月連続で前年実績を上回った。単月のスマートフォン比率は50.3%だった。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞日本電機工業会、日本冷凍空調工業会、JEITA/CIAJ</p>
生産用機械	<p>4月の工作機械の受注総額は、1,086億5,600万円（前年同月比33.4%減）と、7か月連続で前年実績を下回った。</p> <p>内訳をみると、外需は651億3,200万円（同31.1%減）と、7か月連続で前年実績を下回った。アジア向けが273億7,700万円（同40.6%減）と、11か月連続で前年実績を下回った。内需は435億2,400万円（同36.5%減）と、5か月連続で前年実績を下回った。</p> <p>県内中小企業からは、「米中貿易摩擦の影響で仕事量が減少し、生産計画を修正している。」という声や「業種で仕事量がまだらであり、また変動も激しい。」という声が聞かれた。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞日本工作機械工業会、静岡県中小企業団体中央会</p>

業 種	産 業 動 向
楽 器	<p>4月の県内楽器メーカーの販売金額は、52億6,954万円（前年同月比 4.6%増）と、7か月連続で前年実績を上回った。内訳は輸出向けが26億5,592万円（同10.5%増）、国内向けが26億1,362万円（同 0.9%減）だった。</p> <p>ピアノ生産台数は3,110台（同 9.5%増）だった。機種別では、アップライトピアノが2,050台（同 9.2%増）、グランドピアノが1,060台（同10.2%増）だった。また、販売台数は、輸出向けが2,116台（同 4.0%増）、国内向けが1,020台（同16.3%減）だった。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞静岡県楽器製造協会</p>
紙	<p>4月の紙・板紙の国内出荷高は、2,067千ト（前年同月比 0.8%増）で、6か月ぶりに前年実績を上回った。内訳は、紙は1,055千ト（同 1.4%減）と、23か月連続で前年実績を下回った。板紙は1,012千ト（同 3.3%増）と、2か月ぶりに前年実績を上回った。</p> <p>品種別では、主力の印刷・情報用紙が、577千ト（同 1.9%減）と、4か月連続で前年実績を下回った。ティシュペーパー、トイレットペーパー等の家庭紙は、158千ト（同4.7%増）と、2か月ぶりに前年実績を上回った。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞日本製紙連合会「紙・板紙需給速報」</p>
缶詰・飲料	<p>4月の県内生産量は、食缶類が国内向け1,001千箱（前年同月比 5.8%増）と、2か月ぶりに前年実績を上回った。</p> <p>分類別でみると、水産缶（国内向け）は677千箱（同 5.9%増）と7か月連続で前年実績を上回った。うち主力であるツナ缶は507千箱（同 7.9%増）と、2か月連続で前年実績を上回った。</p> <p>農畜産缶（国内向け）は324千箱（同 5.5%増）と、2か月ぶりに前年実績を上回った。</p> <p>飲料缶類は、国内向けが7,745千箱（同12.7%増）と、3か月連続で前年実績を上回った。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞静岡缶詰協会</p>
織 維	<p>4月の広幅織物の県内生産は、1,278千㎡（前年同月比 0.4%増）と、7か月連続で前年実績を上回った。このうち、綿布が主体の一般広幅織物の生産は、1,193千㎡（同 1.5%減）と、3か月ぶりに前年実績を下回った。別珍・コールテンの生産は、84千㎡（同 38.1%増）と、19か月連続で前年実績を上回った。</p> <p>小幅織物の県内生産は、27千㎡（同 12.7%減）と、13か月連続で前年実績を下回った。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞遠州織物工業協同組合、天龍社織物工業協同組合、浜松織物協同組合</p>
家 具	<p>4月の全国百貨店での家具販売額は、46億7,289万円（前年同月比 0.1%増）と、3か月連続で前年実績を上回った。また、大型量販店での家具・インテリアの販売額は、789億8,610万円（同 13.3%増）と、13か月連続で前年実績を上回った。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞日本百貨店協会、日本チェーンストア協会</p>

業 種	産 業 動 向
小 売 業	<p>4月の県内百貨店・スーパーの販売額は、31,906百万円（既存店前年同月比2.0%減）と、前年実績を下回った。品目別に見ると、飲食料品の販売額のみ前年比増加し、その他全ての品目で昨年度の販売額を下回った。</p> <p>東部の食品スーパーへの聞き取りによると、精肉が好調で、特に二次加工品や加工品等、手間がかからない商品の販売を中心に売上額が前年を上回った。一方、そのほか青果、鮮魚等の食品が不調で、全体としての売上額は前年を下回った。</p> <p>中部の専門店への聞き取りによると、薄手のカーディガンなどの羽織物やリネンシャツ、化粧品、アウトドア関連など大型連休に備えた商品の需要が目立った。しかし、低気温が要因となり、夏物の衣料品の動きが鈍いなど、店舗全体としての売上額は前年を下回った。</p> <p>西部の百貨店への聞き取りによると、催事や連休の影響により食料品が好調であった。それに対し衣料品、身の回り品、家庭用品の不調があり、店舗全体の売上げは伸び悩んだ。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞関東経済産業局、静岡県地域産業課</p>
観 光	<p>4月の県内主要10観光施設の合計入込客数は約52万人で、前年同月比1.0%増となった。</p> <p>掛川城や伊豆・三津シーパラダイスでは、改元に因んだイベントが人気であり、また10連休の効果もあって、前年に比べて来場者が増加した。</p> <p>主要有料道路（5路線）の合計通行車両数は、約72万台となり、前年同月に比べて2.8%増となった。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞静岡県観光政策課</p>

= IVデータからみた県内主要産業 =

<二輪車>

	30年8月	9月	10月	11月	12月	31年1月	2月	3月	4月
完成車生産台数(台)	10,823	21,457	29,265	26,209	24,560	24,286	25,212	21,861	18,909
前年同月比(%)	▲ 32.8	44.1	72.9	56.1	79.2	84.4	20.6	12.7	16.5
KD輸出額(百万円)	624	709	779	743	754	765	816	795	863
前年同月比(%)	8.5	43.0	29.3	22.5	42.0	41.9	25.4	54.2	14.7

<楽器>

	30年8月	9月	10月	11月	12月	31年1月	2月	3月	4月
生産総額(百万円)	2,767	2,768	3,478	3,348	2,952	2,812	3,032	3,150	3,308
前年同月比(%)	▲ 5.7	▲ 10.1	5.3	0.4	▲ 10.5	10.9	4.4	2.5	6.4

<缶詰>

	30年8月	9月	10月	11月	12月	31年1月	2月	3月	4月
食缶生産高(千ケース)	966	943	1,043	1,034	949	925	891	1,008	1,001
前年同月比(%)	▲ 0.9	▲ 2.2	7.9	4.2	6.1	14.8	1.4	0.0	5.8
うち水産缶詰(%)	6.8	▲ 0.6	6.4	2.5	7.0	18.8	0.5	0.7	5.9
農畜産缶詰(%)	▲ 16.4	▲ 6.3	11.3	8.5	4.2	5.3	3.3	▲ 1.2	5.5
飲料缶生産高(千ケース)	7,407	6,774	6,884	7,005	6,135	4,650	5,548	7,730	7,745
前年同月比(%)	▲ 3.2	7.6	15.8	10.4	11.3	▲ 0.9	6.8	11.2	12.7

<繊維>

	30年8月	9月	10月	11月	12月	31年1月	2月	3月	4月
広幅織物(千㎡)	1,149	1,344	1,495	1,718	1,639	1,532	1,392	1,358	1,278
前年同月比(%)	3.5	▲ 4.7	0.1	2.4	3.1	1.1	4.4	2.0	0.4
小幅織物(千㎡)	24	27	29	31	31	29	27	26	27
前年同月比(%)	▲ 4.3	▲ 12.9	▲ 8.7	▲ 5.4	▲ 6.4	▲ 7.5	▲ 22.6	▲ 24.9	▲ 12.7

<観光>

	30年8月	9月	10月	11月	12月	31年1月	2月	3月	4月
観光施設(10施設)入込 (千人)	531	354	372	393	283	305	278	480	520
前年同月比(%)	▲ 5.7	▲ 9.5	12.6	5.2	12.5	6.6	5.6	▲ 6.3	1.0
有料道路(5路線)通行量 (千台)	890	675	724	738	730	675	667	780	719
前年同月比(%)	0.8	▲ 4.1	8.1	0.4	0.7	5.6	6.8	▲ 0.3	2.8

本書で掲載している県内の主要統計資料の時系列（過去10年間）のデータは静岡県公式ホームページの「統計センターしずおか」で公表しています。

静岡県公式ホームページ⇒統計・調査⇒統計センターしずおか⇒県内主要統計指標
<http://toukei.pref.shizuoka.jp/>

需要面	生産面	雇用面	その他
・大型小売店販売額	・鉱工業生産指数	・有効求人倍率	・国内企業物価指数
・専門量販店等販売額	・鉱工業在庫指数	・雇用保険受給者実人員	・県内金融機関貸出残高
・自動車新規登録台数		・完全失業率	・信用保証協会保証金額
・新設住宅着工戸数		・所定外労働時間指数	・企業倒産件数
・清水税関支所管内輸出額			
・清水税関支所管内輸入額			

提供いただいている資料

資料名	提供元	ホームページアドレス
公共工事請負金額	東日本建設業保証（株）	http://www.ejcs.co.jp/region/index.html
設備投資	日本銀行静岡支店	http://www3.boj.or.jp/shizuoka/kouhyou/hyousi_f.html
貸出約定金利		
国内企業物価指数	日本銀行	http://www.boj.or.jp/type/statat/boj_stat/index.htm
円相場		

参考となる全国の資料等

資料名	提供元	ホームページアドレス
鉱工業生産指数	経済産業省	http://www.meti.go.jp/statistics/index.html
大型小売店販売額		
専門量販店等販売額		
輸出入	財務省	http://www.mof.go.jp/siryou.htm
国際収支		
機械受注	内閣府	http://www.esri.cao.go.jp/jp/stat/juchu/juchu.html
完全失業率	厚生労働省	http://www.dbtk.mhlw.go.jp/toukei/kouhyo/index.html
有効求人倍率		

静岡県月例経済報告

令和元年6月号 通巻518号

発行 静岡県経済産業部
令和元年6月

編集 経済産業部政策管理局産業政策課
〒420-8601
静岡市葵区追手町9-6

TEL 054-221-2635

FAX 054-221-3217

E-mail sangyo-seisaku@pref.shizuoka.lg.jp

URL <http://www.pref.shizuoka.jp/sangyou/>